

京都府次世代自動車普及推進協議会  
「第2回 F C V・水素社会研究部会」  
議事概要

- 1 日 時 平成27年5月28日（木） 15時15分～17時
- 2 場 所 京都府庁1号館1階 文化スポーツ部・環境部会議室
- 3 出席者 自動車メーカー、学識経験者、経済団体、行政、ガス会社等  
計13名
- 4 議 事 水素インフラ整備ビジョン（仮称）策定に向けて
- 5 主な意見
  - ・ 現在は、初期導入段階であり、社会的受容性の向上及びコストの低減が求められる。
  - ・ F C V等の次世代自動車がすべて展示され、さらに試乗もできるような場があれば、有効な普及啓発になる。
  - ・ F C Vがタクシー等に導入されれば、普及がより進むのではないか。
  - ・ 水素ステーションの整備については、点ではなく、線的又は面的に考えていく必要がある。
  - ・ 水素社会が実現するまでの過渡期には、パッケージ型水素ステーションをも活用したインフラ整備が効果的である。
  - ・ 水素の供給源は、コスト面等から、しばらくは化石燃料が中心になると思われる。一方、今後に向けては、C C Sや、再生可能エネルギー由来の水素エネルギーの検討が進められている。
  - ・ 京都の強みは「環境」と「観光」であるので、ビジョンにはこれらをうまく織り込めないか。例えば、前者については、水素を介した再生可能エネルギーの活用、後者については、外国人を含む観光客へのP Rなどが考えられる。
  - ・ 本研究部会では、当面の課題である水素インフラ整備について議論することとし、F C Vを含む次世代自動車の普及促進については「次世代自動車普及推進協議会」において幅広く議論することが適当である。